いま、午前三時半だ、記者は なと東京の政界のことを考へ 員である。『文鶴春秋』新年 関手洗膠土「軍部の潮洗異典」は 地域が昨日来たが、久し振りに 地手洗膠土「軍部の潮洗異典」は は爪を楽で、羊に牙が生えた

を挽回した」と書いてある、 こそ來年に廻して、満州図の こそ來年に廻して、満州図の は満々と推し進められつゝあ

思へば柳條涛の砲船は大きく をいふ特殊な人間群が巨大 な組織の中に、隆々として榮 な組織の中に、隆々として榮

の見るがでは、

あるは「ちんどん屋と」の、 非後郎さんである、なれから 山田弘之さんである、なほ昨 はの「ちんどん屋を云々」と

新 大 十 三 百 六 千

越年・緊張の空氣あり

政務調査委員會設置か?

H

のための、

るのが、満州関政務機構改革ないか、で、こゝに罹想され

そこには、企劃臨を中心に、 恐らくは開東軍よりも参加した、多くの委員が任命される であらう、これで満州隣國政 であらう、記れはシャレぢ きれるであらう、統制流行の されるであらう、統制流行の されるである、これはシャレぢ である、これはシャレぢ である、各部政殿、 大件電節減、悪玉討伐、人材

満洲國

1 V

91 スン

ŀ

全貌

(D)

と は は は は は は は は は は は は と て 公人だ、 今の場合 は と て 公人だ、 今の場合 が し 彼と て 公人だ、 今の場合 は 然 に 、 済洲國政府の長官と

冷徹せる自己批判、將來の建 設を思ふての工作、その成果 それこそが近く出現すべき政 である。

【東京関通】内大臣の更迭は 地六日突如決定の上發表を見 ではれたが右に就て貴族院並 ではれたが右に就て貴族院並 響に就て左の如き觀測を下し 一木樞相並に金森法制局長官 であるとして 東親してゐる即ち

を表法制局長官の更迭は近く 無相の離れ及び之に伴ひ當 に後任難の結果であるが震 に後任難の結果であるが震 が下であるが震 が下であるが震 を見の勢力にさして居たの は後任難の結果であるが震 を見た以上例 を手が内府入をした以上例 を見たる影響

的發展を確認して會て閉鎖しイタリー政府は満洲國の驚異

を走り書したりして、前回ま を走り書したりして、前回ま

年」の課植

外交座議會」つてのを見る

散を誘致すべ

きや否やの最高 | 會議が開催された、會議には精極的に讓會解 | 題經過報告を中心とする重要

會議が開催された、會議には り敷祭政務委員會成立に至る 管護室に於て同少將の北支問 々木軍政部最高顧問、專田参 會議室に於て同少將の北支問 々木軍政部最高顧問、專田参 を表示の土肥原少將は本日午前 板垣桑謀副長、坂西第一、河

調が行はれた い迄の詳細なる経過報告をり実

栗前後十一ヶ年に亘る内大臣 ・牧野俥瀬伯の大正十四年以 ・大臣を辭任し

を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。 を決定すべきである。

先づ生田は

● 馬馬長老との意見には尚可成 の間隔あり遠に意見の一致 を見るに至らず午後八時事分

衆議院奉答文

滿場一致可决

審議するため政友會では

日の紫護院本會議に緊

畑としない事に決定、廿七日石は廿七日の議場に於ては間で言ふに意見一致、暇敢えず

明瞭にしたものだけに今後の

たまけに現内閣に對する重臣 藤子が現内閣の産婆役を勤め

多年

の偉動により

一木楓相問題の

親されてゐる所であるが、濟政局に對する影響は最も重要

りは重臣ブロック神管内に於

對議會策に

就き協議

關東軍首腦部會議

将來の北支對策等協議

るので結局多年の億 で考究されてゐるが 法に就ては目下湯漆

も年内には 時日を要す

侯爵に昇爵の御命を拜す

原少將を迎

中谷時計店旗部

天皇陛 郷中に臨

内、軍部並に政友會等の一部 子が瞬田首相と協力し権府部 るるので常然今

これできであらう し得るかにかゝつて に解消させ福府の安 來京の中野氏

注率する東方會に據り、獨自 主率する東方會に據り、獨自 を由の立場に立つて新たな政 京前

金 向け離連の豫定である ころと共に新京監獄より「ここ十日 午前各方面訪問観察 市内登民に分配し、食なき者 正午中央銀行招宴(中銀)は市内六ヶ所の施粥場に於て 戸が)午後三時頃より有志 現に角棚口を凌ぎ居るも、こ 座腰倉 (周上) 夜有志懇談 現に角棚口を凌ぎ居るも、こ 座腰倉 (周上) 夜有志懇談 現に角棚口を凌ぎ居るも、こ 本語に投稿迎春、二日北支に すると共に新京監獄より「ここ十日 午前各方面訪問観察 市内登民に分配し、食なき者 であいます。 後の密財受付は左の通りであ分配すること」なった、その隣保委員を通じて市内窮民に ツ」の寄附を受け各 ★非ヲ 上裔之氏(天津)同天津

ラマ

ウン

リチャ

▲神守派一郎氏(神殿地方部 ・一郎は一氏(宮東)同 ・本谷吉瀬氏(神殿地方部 ・本谷吉瀬氏(神殿社員)同 ・本谷吉瀬氏(神殿社員)同 ・本谷吉瀬氏(神殿社員)同 ・本谷吉瀬氏(神殿社員)同 ・一下山多美郎氏(神殿社員)同 ・「日午後来京名 ・「古屋まテル 原少翰(本天特務機能) (本天省長) 同 (本天省長) 同 (本天省長) 同

簡異なる御食事も出来す

終演お歸り

ピス致します

廿七日より 開演后一時より

の雑沓 ト特作映畵(全八卷) 三回入替なし

プオックス超特作映譜(日本版) バーセルメス主演 -0七 CO

年内上程を見合はす 國體明徵派の申出を政友幹部考慮 上奏案の

大野になった。 大野になった。 大野になった。 大野になった。 大学では、一生義で進み絶野多数を獲得 大学では、一生義で進み絶野多数を獲得 したが、鈴木總裁と久原、胸 時兩長老との意見には尚可成 の診衡方法につき意見を変換 したが、鈴木總裁と久原、胸 を見るに至らず午後八時中分 黨内にも反對意見あ

同)、離正権(昭和會)の十 中の御都合を伺つて後捧呈す は濱田衆講院議長と打揃つて 機雄(無所懸)、佐藤啓(國 可決、濱田黻長は泰答文は宮 【東京國通】近衛貴族院議長 重松重治(以上民政)、安部 總員起立裡に満場一致これを 放友)横山金太郎、木村小左 | 大で各委員は塞答文を起草、 大下子文 本 呈

に感激して宮

混なる勅語を賜ひ入御遊ばさには之を御嘉納あらせられ優 六日の開院式に賜つた勅語に下に拜謁仰付けられ恭しく廿 之や搾品したるところ 陛下 對する泰察文をそれぞれ捧調

内閣並に樞相進退に

重大影響あら

手する模様である とは間に合はず明春御 の作成その他に相當の

カ

内大臣更迭ご

貴院方面の観測

開設は虚報

一、新京ロータリー俱樂部廿六四 ・大信洋行工事部に勤務されてゐる今坂橋次郎氏より 金五十四 一、新京地方事務所、滿洲社 會事樂協會、附屬地)主催 の農末同情週附鹽集金の中 まり本市内窮民救濟金の一 部に充當される様金五十四 部に充當される様金五十四 の寄附の申出あり

開き本期栄養、東年度新計畫 交通會社重役會

中四分五厘に一ヶ年年 で現代が今回更に國幣 ではが今回更に國幣 では、本にが今回更に國幣 あるが、國内通貨統制に関する中銀、鮮銀の業務協定の實 を促進する意味をも含まれ た、なは新京、率天、ハルビ ン、安東、常日の六都市に限 ツ、安東、常日の六都市に限

國民黨 背後に 暗船 部の陋策 霊めく歐米派

の態度に出たのを不平とし之 に立つて活動してゐる事は園 ・ 本語離の公覧は廿六日午後到 を綜合して今回の兇變は今回 際 ・ 大道離の公覧は廿六日午後到 を綜合して今回の兇變は今回 際 ・ 大道離の公覧に引むなので外 して蔣介石氏を窮地に陷れん ・ とする鴬部一派の策動だらう 等 ・ でゐる、即ち國民黨部は蔣介 と載でゐる ・ 本語を工程を重視し とする鴬部一派の策動だらう 等 ・ とする鴬部一派の策動だらう 等 ・ とする鴬部一派の策動だらう 等 に非難を浴せてゐるが、之等 の學生運動が唐有王氏を射殺 の學生運動が唐有王氏を射殺 は今回の兇變は今回

関係は悪化するも已むを得な

いとしてゐる

等かの指置をとらざれば日支

小畑參謀離承

券增裝

別用下さいの第一枚で焼骨一枚進呈

さ際

光

一関 社 寫 眞

場

智慧(3)六八六二号

眞

電話へ3)六八六二巻

日本郵船辦出場所

日出數發

月五日うら

る丸

大連市吉野町七一

金百三十八圓 二十五H間

主催

之等運動に積極的の取締りを 際關係ある證左で蔣介

民黨部の裏面に有力に動く國

館開設に伴ふ改正である ・デブト及びエチオピアに公使 ・デブト及びエチオピアに公使

大力道

長崎鹿兒島行

断然氣に入る寫眞へ男性の方……ハイキー式

三笠町三丁目角(稻垣ビル三階)

一月末まで二割引む正月寫眞は當寫眞場でし

引

お

知

6

せ

連絡航路

の件(書記官、

【東京國通】廿六日勅令を

在外公館職員定員令中改正

在外公館定員令

するが如きは之を認める限りで、當局に於ては彼等が勝手で、當局に於ては彼等が勝手

有難い恩命を拜し感療に

であるが、外変部に

の安定强化 化を関る事だ、蒼藤 行きしめ政界上層部 でしる政界上層部 が、関體明領問題の

を頭じて聯任の心境を左の如 であらう。
一月二十日頃迄に行はれる一月二十日頃迄に行はれる一月二十日頃迄に行はれる一時が前である。即も右の如き情勢に 牧野伯談

があるとの見解を漏してゐると称するもの」詐欺事件もあと称するもの」詐欺事件もあ

伊勢参りと温泉巡り

●申込と同時に金廿圓拂込の事●行地にて自由解散出来ます

電話長2七九七四振替大連一七五八

新京憲兵隊本部副官から安東

巡拜

4

所

鬼怒川瀉泉、鴨川稻荷、名古屋、京都、東京、日光、成田、佐倉、天の構立、大阪、奈良、伊勢大神宮、山中温泉、天の構立、大阪、奈良、伊勢大神宮、山中温泉、田門司上陸、山口湯田温泉、秋芳洞出雲大社、城崎邁

泉、金澤

@汽車二等、

船室には特にフト

ンを敷ます

申込所

新京大和通

港蒙旅館

〈電話③三二八番〉

本社へ来訪

十第回二

伊勢參拜團募集

率つたところ今回勅許を得病氣靜養の爲め骸骨を乞ひ 志十名を引率れ 新任地へ 「大人である、小畑参謀の後任として著任 以来、察舎爾、非職區等に於 は来、察舎爾、非職區等に於 は本、察舎爾、非職區等に於 に處して赫々たる功績を建し た人である、小畑参謀の後任として著任 として天津駐屯軍附鈴木康歩 として天津駐屯軍附鈴木康歩 をして天津・ として天津・ として、 である、小畑参謀の後任として著任 として、 として、 である、小畑参謀の後任

滯京中日滿各要人と會見

冬期救濟事業 帝同、廿九日午前七時新京<u>愛</u> 一種情況視察の爲出憂、卅一日 一種情況視察の爲出憂、卅一日

人事往來

軍賜公債帰高價買入

●御下命次第係員をお伺ひ致させます●

0廣

諸公株社

式借

現物賣買合養廣本洋行證券部

新京日本橋通七五

告 0) 用 命

は一、電話。三三〇〇番への

電話長(3)二〇四三番近六二二番

世界は動く

フランチョッ・

トキャ

10

ンル

一日の賣上平均三千五百圓

全員汗みどろの活躍

村 く一年でこれ丈夫を整から受ける感じは場所が狭いと想はれる提供溢した内容の豐富さだ、實用的臭服洋品の流行の椊を集めた品揃。 世帯道具の目立つた格安さ時に組合自慢の菓子工場の製品に組合自慢の菓子工場の製品

官吏消費組合生れて

七割と云ふ見當なので廿一萬町の費上の四割と云ふものは新京商人の懐に戻る勘定である、一選年を迎へる官消の本様、與安大路の中央配給所をおれると、艦々押し迫つた買訪れると、艦々押し迫つた買

月中に完成して居るが、本年 解氷と同時に工事に着手して 秋迄には、三百坪三階建の本 館が出來上る由で、本館出現 の鴫には官消は感新京の名物

日本開棋界の異才管年棋客、 で現宮内府事務官彙橋澤官果 院(廿六)君は彙ねて婚約の 間柄であつた林溥維と廿六日 目出度薬燭の典を擧げ、宮内 府其他の關係者及び知友等を 大陸春に招き盛大なる披露宴

た、各質場も

岩田幹事長語る

は されて地方的問題が再燃する 以 かに見えたが、過去一ヶ年の 以 かに見えたが、過去一ヶ年の 以 かに見えたが、過去一ヶ年の 財 が ではなりではなく、双方の質 側の 非の理論ではなく、双方の質 側の まだ も今後の 新聞の ではなく アンカー では るやうだ。 東に角側面の管滑 ている やっちゃっこう かい こう かい こう かい こう かい こう できった 東に角側面の管滑 でいる やっちゃっこう いっこう いっこう はい かい こう はい こう はい こう はい こう にい こう はい こう にい こう はい こう にい こう

成立 動も表面的には 動も表面的には

機哩百三速時でンヂンエの力馬百七。坐複。翼低。脳金全は機同がるあでのも

で新京交通會社では市内バス の運轉時間を延長し戦客の輸 送に大馬力をかけることになった、初参拜者を始め一般市 民に取つては大いに惠まれる であらうその大要は大の通り ▲二號線午前四時四十分より 新京驛談 同治街、金輝路間 を運轉す

順治路發午前五時、四十分 置き 一十五分、衛戍病院發午前五時、三十五分、衛戍病院發午前五時、三十五分、衛戍病院發午前五時、三十分置き 十五分、電域子發午前四時四十五分、電域子發午前四時四十五分、電域子發午前四時四十五時、電域子發午前四時四十五時、四十分監告。

△三十日、三十一日

▲五號線新京字號中後十一時 分置き

吳清

源の實兄

昨日結婚

▲四號線新京膠發午後十一時 より十二時十五分まで三十 分置き

正し職員を増員する。

▲三號線午前四時四十分より 新京驛、白海町、順治路間 を選轉す 本四號線新京驛發午前四時四十分、 一一五號線新京驛發午前四時四十分。 一十五分、衛成病院發午前五時、四十分 置き 一十五分、衛成病院發午前四時四十分置き 一十五分、衛成病院發午前五時、四十分置き 一十五分、衛成病院發午前五 中、三十分置き 一十五分まで四十分置き 一十五分まで四十分置き

朝鮮青年慘殺死 袁

た目と見られぬ惨狀

切れてゐる 附近の様子

ら | 丁目燈房商田中商會使用朝鮮 方 た封筒により市内梅ケ枝町四 清 くして調査の結果懐中してゐ 一 八捜査に大活動

後見 しそれと日本橋 田で本箸では時を移るず飛田 計 の法主任、池田刑事部長、外

構通東公園に朝鮮人青年の惨

午前十時頃新京附屬地日本

に新京署刑事は八方に飛び犯 るる に新京署刑事は八方に飛び犯 るる に新京署刑事は八方に飛び犯 るる と見られてるる身元判明と共 苦心を要するものと見られて と見られてるる身元判明と共 苦心を要するものと見られて と見られてるるが金銭上 死体を解剖

修死機器見と共に新京領事館 たつて實地検證を行び死體は たつて實地検證を行び死體は が成功を行びを表した。 なった

田中商會の話 れたものと推定さ で運び投げ捨て

二十五日鴻洲國衞用處出火の原用度科に保存してゐた書類際用度科に保存してゐた書類際用度科に保存してゐた書類に保存してゐた書類が丸態けとなったため一年のが東側係及び出入商人は下金がないため四苦八苦してゐる複 会年末に際して四日御用始めの 示を受け、二十九日は日曜で 一位をなし残務整理、一月三日 世をなし残務整理、一月三日

て本年度の御用納めとする

めず御用納

故佐藤氏遺骨

ての結果を纏めて上の結果を纏めて ての結果を纏めて上梓一の結果を纏めて上梓一

が、いま一ケ年間の業績を顕一十五日開館式をあげ、本年一月一日から使用を開始した 一月四九回▲二月四七回▲ 三月四四回▲四月三九回▲ 五月三八回▲六月三九回▲ 七月二一回▲八月一八回▲ みると講堂の使用數は

商分多かつたが夏枯れ時期に使用殺到した結果使用回數は は開館賞初興行物特に映識の計四百十二回で一、二、三月回 十一月三六回▲十二月二〇

卅九回、霧滴廿四回の順序でから見ると映畵が断然多く百 つて激減した、 一般六、

かは殆ど跡を絶つた形である に目的の無料映寫があるのほ 時的現象で、現在では稀に公 かは殆ど跡を絶 ほ公

無象観測の完璧を期する爲**聲** 製象観測の完璧を期する爲**聲** 復活せしめ更に**又陣容養弱な** 復活せしめ更に**又陣容養弱な**

觀象臺職員增員

殴十二時三十分





満洲釀界之雄

カンヤ

五八

火事で焼け 處排 たとて ず

出入商人四苦八苦

年會を開いたが西尾拿護長を 日午後六時半より八千代で忘 関東軍記者クラブでは昨十六

開店早々にて萬事不行

屈多々有之誠に恐縮仕

河忘年會

の花形であった 趣中は帝都各大學園棋俱樂部

延年あと火 は末るし事 しののてに

こても出来得る限りのとなる事故は致方ないによる事故は致方ない。

京の途に就いたが氏は化研究の為め一月の観通」満洲及び北支の化研究の為め一月の観日午前十時出帆の熟河 柳士夫妻區國

便宜を觸つて貰ひたいもの だ、又そうすることが當然ではなかららか と云つてゐるがこれは一理あ と云つてゐるがこれは一理あ

始め冷謀部各課長及特別會員

て盛大なる宴を張つた

白衣の勇士凱旋

勇士州三名は廿七日午前七時 明士と共に途中率天より廿八 名、遼陽より一名、海城より 十一名同車の上大連より 一名、海陽より 北浦方面にて活躍した白衣の

も着京の豫定に御座候

へば御見捨てなく御愛

ひ近く東京より女店員

は清源君に劣らぬ棋達者で在 を鳴望されてゐる、尚に同君 を鳴望されてゐる、尚に同君 を鳴望されてゐる、尚に同君 時押合 際に購還の豫定である

顧の程偏に懇願仕候

興行物が激減 公會堂の使用調べ

開設致します純フランス風の

尚近く弊店獨特の洋菓子部も

味を賞味下さい

白十

字

喫

茶店

昭和十一年一月十日 上委綱承知セラレ度

-,

親京内ニ保護者並確實ナル保

. . .

高等女母校卒泰以上

女子事務員募集

小説歌行燈(二)喜多村鉄郎本小仙▲八、○○連續ラヂオ大川操▲七、二○義太夫双蝶 △各小學校冬期休暇に入る あ す(廿八日)

附屬地の

すぐ

來給へ

御會葬御禮

親戚友

人一同

間

早

田

東虎男君用あ

3

滿洲中央銀行人事課

御贈答品!

0)

0

0

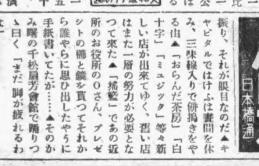
0

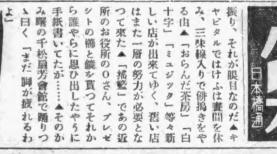
御家庭酒にし

自信。定評ある!

旅順の銘酒をし

晦日も二日間時間を







を無温

▲七、○○ジャズ大川ファン ものが妨げらると如き摩害は來與行物のために公共目的の 一今晩の主なる放送番組…

全部豫約濟み 九兩日 0 ひかり

休暇利用の内地歸省の客で

カーの窓口には乗車券が出作戦利用の内地職省





イヤ街 電話



候今後着々諸設備も備

かった。其の前に入月に日本舞びが来て相當の成績を敷めた十 一月には西班牙の舞姫マヌエー月には西班牙の横姫を敷めた十

今日

の演藝街

(一人一枚限り)

新京日日新聞社

ル・リオとは本年頻京藝術界 功した。チームーバリストとデームーバリストとデーないのでは、日前に於ける

豊楽劇場 サ七日より州日

半額優待券

昭和十年新京演藝史

郎

成功だつた。併し路業其物の 一行が来たが、書丸の病氣落 一一行が来たが、書丸の病氣落 一一行が来たが、書丸の病氣落

野樂劇場

まで有効

つぐす鋭精

かしいことが判る。 マ浄瑠璃

本紙愛讀者

おおおり 製築劇場上映中、知りチャード・パーセルメスのリチャード・パーセルメスの

製築劇場上映中、紹介別項参照 ド・パーセルメスの死刑囚マーゴ、二 におけ

= 3

□山中監督「怪盗白頭巾」後 □日 活·京 都□

撮影所だより

で生命の雑香」は「海瀬たる殺人」のミチェル・ライを殺人」のミチェル・ライを殺人」のミチェル・ライを担る幾組もの男女の四時間内における奇しき運命の外ガードルド・マイケルでき課題であるから洋書に喰ひできまい人達と子の栄養であるから洋書に喰ひできまい人達のがあらり、又日本語版ものがあらり、又日本語版ものがあらり、又日本語版ものがあらり、又日本語版ものがあらり、又日本語版ものがあらり、これが成するものは、対している。

阳

本紙半額で優待 電以 は本棚嗣込みの半額券を利用 でれたい

帝都 よりの上映プロは左の通り都キネマ開館第二週二十七 第二週ブ キネ

世 東 大 大 北

羅が興味を呼ぶ、監督は山一環の原作小説の映畵化で停文部原作小説の映畵化で停文部原作小説の映畵化で存成の活力に乗り込んだ天狗の活力に乗り込んだ天狗の活力に乗り込んだ天狗の活力に乗ります。 ミリの瀬用があり、いづれる とは少く、多くは各地方のセ ールスマンの手を通じて、特 な上映をされてゐる 本、商業用映畵の製作請負者 として有名なるものは、リー ド・モンス、ウイルデイレ グ、ジャム・ハンデイ、キャ ツスル、パニー・ニュース商 業映書部等の諸會社があり、 素名なスターも出演すること 商業用宣傳映書の製作が増加 一方、我が國に於ても、此種 一方、我が國に於ても、此種

大記者の活躍が見ものであり、水谷 学の原作を上島量が脚色し が、霧立のぼるの婦 が、霧立のぼるの婦 が、水谷

(本) では (本) できまった (本) できままった (本) できまった (本) できま

、直ちに整理に入つの獅子」は十六日撮色・の胸 山密原作 脚色

山岳映畵 トレンカー

「雪山の騎士

▲山田恭雄氏 (大和通り四十 二番地) 長男英太郎さん十 出町一丁目十六番地へ寄森縣)

▲江田芳榮さん(羽衣町一丁 目十四番地)二十五日午前 一三十六番地)男正純さん二 十五日午前六時死亡 十五日午前六時死亡

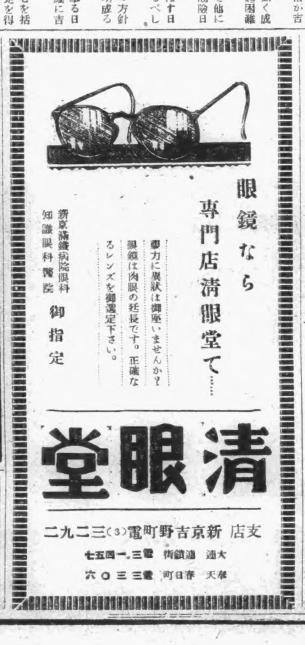
茶。即 便 E

八月十一町某连京新一番八四九五話電









豊樂」の歳末興行に 老日

アメリカの宣傳中語の電社の好調に伴ひ、之等の事業會社が宣傳用に使ふ商業用映画のああり、今年九月以降事業のがあり、今年九月以降の事業のがあり、今年九月以降の事業のがあり、今年九月以降の事業のがあり、今年九月以降

エスキモーの實生活を記録した映畵にも一貫した映畵としては決して珍明を整理りあげるために自人を引ってはないが、アメリカものを含むないが、アメリカもの本質から言ふと、この一篇の方がずつと傾したスキモーの生活を記録したストーリッとももしいった橋したがない。このではない、ただ、このが高級されたといった橋したといった橋ととなったに自ら一つの筋をではない、ただ、このは、ただ、といった。このは、ただ、といった。このは、ただ、といった。このは、ただ、といった。このは、ただ、といった。

・ウオンといふ堂々の顔 ・ウオンといふ堂々の顔 たもの、薄暗い港の裏街 たもの、薄暗い港の裏街 なもの、薄暗い港の裏街 なもの、薄暗い港の裏街 なもの、薄暗い港の裏街 なもの、薄暗い港の裏街

暫くは先を譲りて進め

●二黒の人 辛権の権を杖と 中と王と丑が与 ●三碧の人 諸事意の如く成 一権の権を杖

●四線の人 お先走りて他に ・四線の人 お先走りて他に ・ 四線の人 お先走りて他に ・ 迷惑を及ぼす事ある危險日 ・ 出版の人 超角を現はす日 ・ 上下内外の製和厚かるべし ・ 空と葵と丑が吉 ・ た白の人 従前よりの方針 を改めず直維すれば功成る ・ 反と丙と丁が吉 ・ とある人 利潤大に墨る日 計畫を立て新春の活躍に吉 ・ とった。

りて萬事に當れば滿足を得入白の人 氣を締め心を括

●九紫の人 地位に不安を生 じ意見も用ひられず不安日 こと学と丑が吉

嫁取り 15 デウムー

ト本田男

二郎、大久保清子等三郎、大久保清子等

「パーコの解取り」といふ 一つの奇智を中心に、春か 一つの奇智を中心に、春か て快適に美しい律動を得へ てみる、嵐の夜小舟に身を 変せ大捷を衝いて確取りに は、没りのクライマックス には充分に愉しあるものが に大か、映画のを高に亘つ にもった。 いる、 しいを でいかして でいる。

胃滿友戊寅曜 日八廿月二十 日三月二十個

新京日本橋通り新京百貨店二階大至急お來店あり度し

舘 下值料室

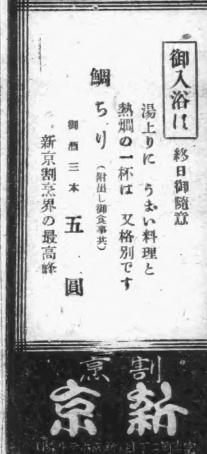
寫眞

除無料食堂電話設備あり 発無料食堂電話設備あり

風台

掃

枝町三ノ 話話(3)製品・ 六



四本橋通六二

日支貿易協會

中海沿岸諸國よりなる對伊頭市断行により対外貿易總額の二割五分を喪失したユーゴースラヴィア政府の要失したユーゴースラヴィア政府の要失したユーゴースラヴィア國

様では、 はでは、 はでは

第一回寶 志正 1000

イゴイネルワイゼン

牙無曲郷五番マ

L

日式杆块

及

資前

日常自治

13

設立絶望か

金上海標金 和

月二七日前城)

中等布圖綿(二貫目に付)

金四圓六十錢 十一圓

可り刊む

船頭可愛や音

Com St

サクラ屋布圏店

東二條通、青陽ビル

豆楽劇場

創立總會延期さる

支那側の申出により明年一月 を那側のかいる申出は日支嗣 事をとつたものと思はれるが 現状よりすれば無期延期の外

米伊貿易が米伊貿易が

新馬二百餘頭を購入

(十二月七日前場)

何外經濟電淋

你四九仙四分三

三金爱子

新京東一條通亨/新京即前已被館

三代日

本籍山口縣體浦郡安岡町橫野

小見には小見に對する療法を以つて應じます

商况欄

リズム・カツボレ

談谷のります。 は日本ののります。 は日本のののります。 は日本のののののでは、 は日本のののでは、 は日本ののでは、 は日本ののでは、 は日本ののでは、 は日本のでは、 は日

なり内田組の肉燃的不平

機案作成に着手する答である おる事となつたが、之に伴ぶれる事となつたが、之に伴ぶ

廿八日公布

副會長を選出せば榊谷、一ち間、川邊雨氏の中より

着々實現 國農村對策

一合理化、負銀の切下げ等生産の切下げが行はれ不況時代

加貿易常道に復歸す

| 短三之助老を會長とし相

日滿土建の合併

策は期待せられてゐる尙は「位千圓」 度となって

期に比して三千百九十五萬八の如き相續段、酒税、順税を筆頭として軒並は税、關税を筆頭として軒並は 少を示してゐる外は租稅收入收入及び日銀納付金に於て減 請負稅捐局 てゐる、倚ほイタリト朝 倍乃至三倍の微特振りむ 信乃至三倍の微特振りむ

問題の石油

を1月十八日殿 7月十八日殿 1月十八日殿 11月十八日殿 11月十八日 11月1日 11月

は從來稅捐局百五十三局中五萬一千國を計上して百九十六萬一千國を計上して百九十六時總三年度豫算中稅捐局整備 掃さる は僅かに一萬八千兆に過ぎ不國商品は昨年十一月に於れて國南品は昨年十一月に於

現物 100~00 現物 100~00

100-00 100,00

票

侺

相

場

海居 圖子

病

15

境子ご武男 株部八男

オコロムビア流行歌選集 ミヤタ・バンド

100-00

左の如くである(單位鏡 十五日より ▲上海爲替

鏡保準紙貨幣發行額 整備幣額 第三回回 第一回費 数

本社要活動寫戲室改造並修 「鐵地方部 本社要活動寫戲室改造並修 等工事 一千四百二十一個八十 鏡 本社第二分館一部間仕切水 設其他工事 一千七百九十八圓十六 後 後 一千七百九十八圓十六 第三回 第三回 資資 第二回 第一回實 和

生 美

二九朔一六分七

建ニュース

原調な推移を示すだらうと謂 合計法は の生じない限り明年も亦大體 合計法は

明年も大体順調に推移せん

1

人利 公公

2 大きので 息

榮 是 松平

貫一が容

とも得する鍼鍼灸術は手古不變今日に文化は進むそれ日に月に連れて治療界

薬に惱める難病者を歡迎す

安

雪ね

初

松き松音伊松音

ませんか故に質に其の鍼灸術の深、我國の鍼灸術の精華を物語實證で

李春寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺

其の病根と經穴とを野照し施術が故に真に其の鍼灸術の深奥を

の双

不肖祖先俸來 対

美鉛頭可愛い 奏 ヴアルス・ブルエット 諏訪 根 自 や ボリス・ラ

寸井上四手

い リフェクリラニクラ 三 浦 歌代 新交替樂園 梅若万三郎 M.

大廉賣·破格提供

新京祝町太子堂前

木村桐タンス販賣所

工場特別市老市場電。一四三六番

十二月十五日發賣

*/////////

本

年

掉

尾の

東京

桐

9

ス

大力ルメン技革 スカラ座主闘歌手並合唱劇 をラン交響業 関 小果政府 音楽鑑賞レコード低等年周 山田耕筰選輯 ある 心 三 益 愛 子 温 ー カ リ の 香 三 益 愛 子 二 ー カ リ の 香 三 益 愛 子 一 一 カ リ の 香 三 益 愛 子

皇帝四重奏曲四重奏

ミュゼットとメヌエット モニック質粒楽器 (金敦フィルハアルの序巻者) ピーチャム駒指揮 重奏 出 ホワード(ワイオラ エロ・アンジョ)後 学 チムパリスト

シャル

上げます

我 致 的 表 帝 图 一 銘 仙 表 希 園 一 重ナフトル 二人用 布閣一重 特別奉仕値段の一例 金十八圓五十錢

金々サ七日より 第 店 大 安 賣 解析を出しました の 中神来古神麗上の異確實なる品を大砂強で差 明 店 大 安 賣

(版本日) 作特トンウマラバ (簡単) 沓雑の命生

の差異を生ずる事を信ずの差異を生ずる事を信ずの差異を生ずる事を信ずの効験の顯著なる事明との差異を生ずる事を信ず 糠々御來館あらん事を 施療に應す標に致しました を開放を當地左記場所に於て一般患者の 新谷鍼灸院 半御承知のお方も御座のます事と サます 者大興行であ 養供 槍 女處の衣黑 世五日 日日 所下六十錢 4テンモ・ L出費のひ笑 整 珍 大中空 のスクンパ

他小見籍病は大抵五疳の虫と云ふ慢性胃腸病、中氣脚、氣神經痛其

の五管器の生害より競生致してを

婦人科病、肺、

料金 五十錢 督監執浩村野・ドンウサ田蒲 内坪・野磯・井三・部阿 智監郎太文州二・浅加下 子京川光・吉浩田高 智監助之平所五・ーキート田蒲 雄 蓮 震 賞・子 蝶 田 飯

十八日山 娘町小と者太與 げんざ斬辻 やにらかたれ生と女 四日間

時常政 時常政 時常交

1、元三、三四七

日上、日七郎、七二一日上、八六七、九以前、二〇年、七十七、九以前

114.3 (2.53 144.300.23 CHI.012.2

11,000,000

八 二、九三五 個八九 10、000 日の九 九・10至 七七九 11九、11日 七七七 11九、11日 七七七

別二總

成の跡をみ

る經費としては官衙營繕費の 共育八十萬圓、遼河、枳花五 等の紅路維持費の百四十二萬 六十五萬八千圓、縣費補助費の二百 六十五萬八千圓並に減債総入 九百八十二萬九千圓であるが このうち稅捐局整備費は從來 全國百六十六稅捐局のうち五

田登し同會社をして各種 は相常な多額に達してあるから實際には産業行 あるから實際には産業行 は相常な多額に建してゐ なるべきである、新年度 協額を前年度に比較する 歳出二億一千九百四十萬 同の内經常部に屬するも 十四、臨時部に屬するも

入諸金

ROO. 4 SE

要喜

肾

路基金

六、八三七、八五四

1十八日動令を以つて公布される家畜交易市場法は家畜の第一名。 容易にすると共に關係業者の第二 不正行為を抑胀して置質主の第二 生の取締り及公然衛生の向上 に資する為制定されたもので第二 大の通りである。

の第一條本法に於て家畜と称をするは馬騾魎牛棉羊山羊豚の第二條家畜党易市場(以下の第二條家畜党易市場(以下の第二條家畜党の第二條家畜党の市場と称す)は公共團隊工作命令を以て定むる者に非されは之を開設することを得す。

惠專印鹽內關租 賣賣紙 國 總資本收 及 稅 稅

利益公金

時別會計

家畜

交易市場法

月台景。000

家畜交易市場法

目

豫年 會

額計

表歲入

時

(A*0<1)*130

郑

の成出入内譯は次の通りの成等による康德四年度のの形態を強想し大體建國の形態展を發想し大體建國ので、一般會計並に特別ので、一般會計並に特別ので、一般會計並に特別ので、一般會計並に特別ので、一般會計並に特別

联

表就之酒消费醇。

い 論 を 經 一年度滿 て本日公布

治法撒廢等の財政膨脹に備へ 財政主義を

歲歲總歲歲 出入 出入 # 110.41 \ # 2010.41 \

豫算會計

會

經合臨經彙合臨經文合臨經南合臨經交合臨經 常 時常致 時常教 時常法 時常通 時常

三つ、六里で、八八四 三つ、六里で、八八四 三つ、六里で、八八四

全国 計 法 第一章 總 期 第一章 總 財 第一章 總 財 第一章 總 財 第一章 總 財 第二條 政府の會計年度は太 周暦年に依る 一會計年度所屬の歳入歳出の出納に關する事務は翌年度三月三十一日迄に悉皆之を完結すへし が完結すへし が完 とを得ずることを得ずることを得ずることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずすることを得ずまた。

生をする

すは掛ま日

組け子ク

對まさりにしんス

斯を並っる事にス

行為をある

から謹い

るで大喫事お西茶

面をにかった で中多で以上大ご

てげのマ

10

h -

を詫さ

紙びん

廣

御定候無圓ター陳各位該致共き滑ク切者位派依爾状にシ現、益 の從今態持し金今々 而自と績業制般御 相運動相す者を突多 下金金様の打値合 ては現撃上之 御て 願御頂誠金は斷成 戴に制な行立 申 願 上致致御にくとに 候ナナ迷依從云依

第四十條 政府の横利に付ても亦りの大変により、
第四十條 政府の為主納人の長民決第百三十條 政府の最主計解及中断の統分制度に依めり政府の為主納人の自己ととを得することを開展過したる場合の規管に付ては資利の定むとの財務を表別により、指置資力にして資力の最直に微力を行って、
第四十條 政府の足とと認めらるるとを管理十二條 出納官吏は其の債務を免除することを開助し其の審計算を監察院審計の結果。
出版に係る計算を監察院審計の結果。
出納官吏は此の限に在らす
とを得かるときは政府には、
のとことを対し、
のとことを対し、
のとことを対し、
のとことを対し、
のとことを対し、
のとことを対し、
のとことを対し、
のは物のよりとをすることを対し、
のは、
のとことを対し、
のは、
のとことを対し、
のは、
のとことを対し、
のは、
のは、
のとことを対し、
のは、
のは

第四十四條 支出官及現金出 第四十四條 支出官及現金出 第四十四條 支出官及現金出 第四十四條 支出官及現金出 行政 大本得計 題 別 第四十五條 國の議入進出に 之を結構別の衝要に因り一般 を以て保管に係る有債證券の 取及保管に係る有債證券の を設定するは法律 を設定するは法律

【頂ニナ刊夕朝紙本】

光の

福から、 一部では、 一では、 一で

に謂特官二きか該選付ひ別署十はり選 て特區と五之し反 は別長稱條をこ行 主市官す 罰と為 管の又る本せをを

弦ま御ダ去 なる二十五日 一人本北條たな 一人本北條たな

タクショ

同

+ =

内二 治

内

7 =

ジ町

ネー 39

一九三六年はいよく、近づいたのだ。われら前間に立ち働くもの、この関に立ち働くもの、この関に立ち働くもの、この関に立ち働くもの、この関に立ち働くもの、このは、東るべき諸似の本質化と推移とに備へ、充分な用意をもち、向后にも工作第一にもあやまたざることを期すべきであらう。治外法を期すべきであらう。治外法を期すべきであらう。治外法を期できる。治外法を期できる。治外法を期である。それらは、たいて變革の第一步を踏み出した。それらは、たいて變革の第一步を踏み出した。

であるが、間けば近來相対反 であるが、間けば近來相対反 目の險樂が相常顯著に成りつ の展光を外に向けて東亞革命 の短火に依りて淨化結束する 必要があると設く論者がある と云ふもので御座らう、兎に に一歩を進めんとして居るの である。 独にしてもアドヴェ シテュラスの仕事である。 而

地市况

雅 命をやらうと云ふにば人和と 和 そ大事である、天時地利は依 本 然として我に恵まれて居るの であるがさて肝腎の人和は如 一 であるがさて肝腎の人和は如 であるがさて肝腎の人和は如 であるがさて肝腎の人和は如

たける英米勢力排撃であるが が成功したのは軍に此の標 るのである、そこへ來ると日本の『歐米依存主義の放棄』に をのである、そこへ來ると日本の『歐米依存主義の放棄』に加 をのである、そこへ來ると日本の『歐米依存主義の放棄』に加 で表たらしい説明なしには一寸 で表たらしい説明なしには一寸 で表れると云ふ不便もある。こんな事では蘇聯の方が

し居る英國が大艦線を地中海 ・ し居る英國が大艦線を地中海 ・ 日露職争以來の日く因縁付き ・ 別して人和となつた、臨が北 ・ の土地なので全國民の血が高 ・ の土地なので全國民の血が高 ・ である、元來自紙の土地だ ・ からである、別民の鵬心の足 ・ の方さるをそう責める澤にも行 ・ のよった。

在图型

見た最頻競時が午後四時からした結果三日間

れるわけである。

行の内地で受けた印象は

放展が充分に関は この敷から押し

安は昨年秋繭洲事變直後破綻せる。 大小に胸合力であり、其後の經營ほ頗 を貸し一時全損とあきらめて 大小に胸合す構展を受け、強 が、之を日本に均らず構展を受け、強 を貸し一時全損とあきらめて が、之を日本に地域で、預金者は何れも回 が、之を日本に上較で起い、 を貸し一時全損とあきらめて を貸し一時全損とあきらめて 大が官札を引繼整理したと云が常時の銀行券を設行しました。 五十の國立銀行の銀行券を設行しました。 五十の國立銀行の銀行券を設行しました。 一億四千三百萬圓に比するとき僅かに で満洲國の三千萬人と大差な

進

交通量調

都警察廳調查

三人の興安大路、同治街季シー を見ると一分時平均歩行者十六人、緩速事九合、急速事三 合其の他諸事一合である。な にこの調査を本年四月調査に 比すると最高は同數を示して あるが最低は四月九に對し十 あるが最低は四月九に對し十 力量は四月の二十七に對し二 十九で同様の

年

か

滿洲國通貨問題

亜に金融事情

社

說

れるのだ。歳末回顧して感慨

條に立つわが社同人また一層

の羅進的努力を誓ふものであ

全年の日本の野外關係につ の野外態度の大體に於ける確 の野外態度の大體に於ける確 の野外態度の大體に於ける確 の野外態度の大體に於ける確 綾かし で、非 を情かし 言有線でありました。而して 一中央銀行として「銀行の銀行」 となつて居るのに對し滿洲の となつて居るのに對し滿洲の となつて居るのに對し滿洲の となって居るのに對し滿洲の に比すれば補別は正に日本よ に比すれば本別と重視行の銀行」 に比すれば本別と重視行の銀行」 に比すれば本別と正に日本よ

御願

を揃へた

樣御存

外れ三百社に上る計

事 に奉天商工銀行の二行があり 事 に奉天商工銀行の二行があり で ます、前者は大同二年十一月 民 三日營口に於ける所謂記帳貨 の 酢たる過爐銀の發行及洗通禁 の 止と共に、銀爐に代るべき金 以で設立されたもので、後者 以下等大騰漸事變直後破綻せ 以 る率天儲蓄會を整理改組した 満洲には現在に於て尚未だ 地に引上げんが爲には非常な 地に引上げんが爲には非常な 地に引上げんが爲には非常な を置くことは困難で大部分は 世界人でありますが、本行百三十九 を置くことは困難で大部分は でありますが、本行百三十九 を置くことは困難で大部分は でありますが、本行百三十九 でありますが、本行百三十九 でありますが、本行百三十九 でありますが。本行百三十九 でありますが。本行百三十九

すが、銀行としても出来 のけ不行国きで御不便と 期間が短い為に各店共何 期間が短い為に各店共何 と 本存 と 本存 まり回收率も良好となつて来 たのであります。 たのであります。 を、たけるが如き銀行預金百九本に於けるが如き銀行預金百九本に於けるが如き銀行預金百九本に於けるが如き銀行預金百九本に於けるが如き銀行預金百九を大な金融界とは比較になり、本行としても國民を表する。 を大な金融界とは比較になり、 であります。 を表するに満洲の金融界は日のであります。 を表するに満洲の金融界は日のであります。 を表するに満洲の金融界は日のであります。

役員決定

0 F.

1

本 達を促すべく努力して居る課であります
(5) 農村金融機関として現在活農村金融機関として現在活農村金融機関として現在活農村金融機関として現在活農村金融機関として現在活農村金融機関として現在活農があります。

より回收率も良好となつて來が大體順關に参り本年度に於が大體順關に参り本年度に於が大體順關に参り本年度に於 のこと、春耕貸款の日大體百員位の平均日大體百員位の平均上ではすが、各地少数のますが、各地少数のますが、各地少数のではよりよく爲し遂げによりよく爲し遂げ

裝身具

ない大第で御座います(終) 二分の御援助を希望して止ま

夏セット

七日後傷) 市况

資金を融通し居ると共に康徳 た金融合作社聯合會を通じて 各地の金融合作社に金融的援 あって居ります。

満洲に於ける農村金融の要 達を助長する必要上、低利長期の融資をなす金融機關の要 をよく唱へられますが、其が をよく唱へられますが、其が

【東京國通】日本聴育協會では廿四日午後五時半から精養として平沼間會長並に同氏秘をして平沼間會長並に同氏秘書に明大教授松本龍蔵氏、又書に明大教授松本龍蔵氏、又書に明大教授松本龍蔵氏、又書小川勝次の諸氏をオリム。 マクの遠征軍の役員と決定こツクの遠征軍の役員と決定

視察談江口刑

刑事科

場其他関係方面の観察を終へ場其他関係方面の観察を終へ同長訪日視察團一行十一名は長江口西氏に引率され約三週、同長訪日視察團一行十一名は同長訪日視察團一行十一名は

本 局長訪日視祭團一行十一名は 長江口西氏に引率され約三週、 長江口西氏に引率され約三週、 京都等各地の警察機關、各工 場其他關係方面の観察を終へ 二十六日午前八時入港のばい かる丸で層滿したが、船中で 一行に代り別率官江口氏は語 相場

志厅至分一五 向〇〇〇〇 三二三二 二七六二 五五五三二

大動亂再設の如き場合)支那 大動亂再設の如き場合)支那に 大動亂再設の如き場合) 大動亂再設の如き場合) 支那

本に惠

れしし階でた較現電 たて級を目し在的 居秩をの的で 0

10

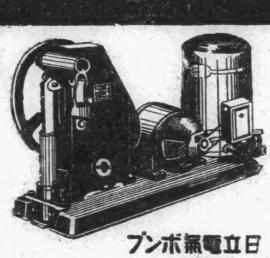
深醫

有京取引所市况 (二月服 100 (二月正百後場)

韓の害殺は節の命用御 ム名を會照御へ店約 へ配左は際の切品

ンレイサーターモロ日

所作製立日



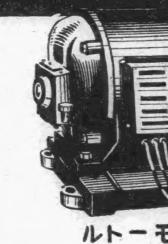
扇無模立日

ス

ラン

モデル

ルトーモ用事農立日



及

一毛拉目

皮小內產小產內產 年派入 中出院

中街永樂町一丁目四(八鳥通東八二軒目) 産婆宇野」 電話〈多〉五九四七一

宅診、往診隨時

話(3)日

九ル 0

商等ノ御相談ニハ精々Mタ方七時ヨリオーケストリーキ(羊肉串總)第四男オーケストリーキの主徳ノ材料ニュ スープ及外側好一個 後五時ョ 何日變り~~デ (時ペン茶)

٢

夕食ハ

4

タイプラ イター

印

他て書類は是兆共タイプライター 書

刷

新京日出町二丁目十六番地 立 滿 電前三-二三八七番

二條 市政管理處を通してに市政管理處を置くに市政管理處を置く

鴻洲坦及海拉爾市政管理

は二十八日附をもつて左の通り公布された興安各省公署官制中改正の併 制中左の通改正す

本部騒は十一日より十五日本部騒は十一日より十五日に直り頭道河子北方附近を大部への遺渠が體二十、小統、拳銃四、弾薬二百穀の上、前後五四に直り腫を強い、弾薬二百穀の制電十四、

當の安値だと見られて 、紀州蛮相で二関から 、紀州蛮相で二関から 、紀州蛮相で二関から が今年の相場は豐作が

中央通一五(裕※號)內 末松接骨院

ほ

れつぎ

0

例に依ることになった

市政管理 場合 一人 原語 一人 原語 一人 原語 長 二人 恵 長 二人 恵 長 二人 恵 日本の職員を置く

り之を施行す 附 則

知し、「富林愛図通」サ六日尾高部の別では、「富林愛図通」サ六日尾高部の別では、「富林愛図通」サ六日尾高部の別では、「富林愛図通」が、「富林愛図通」が、「富林愛図通」が、「富林愛図通り、「「富林愛図通」が、

は 個は全部奥地市場向けのもの 三萬個内外で後の十七、八萬 一 三萬個内外で後の十七、八萬 一 三萬個内外で後の十七、八萬

恩給

男女を問はず

三笠町三丁目廿五番地

■三七七五(3)置五/三町船入京新 社會資合融金和昭

製圖及出願手續

新文人の第四十四年後

洲

石

英葉路頭に迷うものは木倉へ 東三馬路無線電塞下

は、大連支配数」舌に聞る甘酢 一個見當の 、 大連地に陸揚げされたものは 個は全部奥 大連地に陸揚げされたものは 個は全部奥 大連地に陸揚げされたものは 個は全部奥 二十三萬三千個を突破してる であるが今年は現在十七、八萬個 刊さすぎて るが今年は現在十七、八萬個 刊さすぎて るが、それは今年の體作の結 二間七十銭、紀 の陸揚げは困難とみられてる へも銭、紀 るが、それは今年の體作の結 二間七十銭、紀

討匪狀況

部隊管下

来を立つるの外なかるべき模 を存ひたる上にて新規に試

冬

の味覺

蜜柑

昨年に比

一圓安

本合へ

新

豐作

の爲相場下落

らでは實現の日安は立ち難く

らでし、 して で は で 居るので 結局 採算不可能 と 云 ふ 結論 に 達する 嫌 ひ あ り と 出 な を 十分 に 打 閉 し こ

秋本電話店

刷印

八萬國を下らざるべしと見込一方市場經營費は兩者とも七見な居る

北方約十二キロ)一帶の討れ方約十二キロ)一帶の討て、新羅索

| て | 原東の途に就か|

3大HHO福海商事

浪速町二ノー六

金

電話と金融

興安各省公署

満洲里、海拉爾の

てるたが特別區の廢止と共に 接續の縣、族及特別市の區域 に編入すること」なり常該縣 に編入すること」なり常該縣

然して右は廉徳三年一月一日 和我にして本法施行前賦課す べかりしものに付ては仍從前

一、電船捐二、木船捐、五 人力車捐、四、汽車捐、五 人力車捐、四、汽車捐、五 大板地列市捐、八、馬車捐 一〇、房埔捐

特其年營

旗長、縣長、市政管理處長 | 要とし倚野祭應定員には新設 | 不條中「旗長又は縣長」を「及籍技爾に警察應の設置を必管理處長、勢察應長及警察 北浦特別區解消に伴ひ滿洲里 | 報長」を「旗長。縣長市政 | 校言女不信尾三見里 | 株長」を「旗長。縣長市政

之を施行す

東邊道 縱貫鐵道 0

(11)

に設見されて制作する。 たる鐵區数、数百の多きに達 のたる鐵區数、数百の多きに達 のたる鐵區数、数百の多きに達 の

御、鎌、石炭、鉛、石綿、英 の他各種に互るものなるが、 現在開掘中のものは石炭を主 とし、中に四道溝炭の如き撫 展炭に匹敵する良質のものも

たり。 同線出廻敷物の二〇%

東是道縱貫鐵道

期成委員

合

の積行甚だしく、為に從來調 さるべしと想像さる。 惜むら

企業的に不

名(2) 貨物及旅客へ單位キ

金、

河海龍間四

六〇八、三四〇八、三四〇八、三四〇八、三四〇八、三四〇八、三 た。100 年代 000 本年 010 年

1、農産物生産高に對する其の機出餘力は現在の安東出の機出餘力は現在の安東出地を計る。 がと智做し、此の中源道貫がと智做し、此の中源道貫出さる場のとせり(但し通用するものとが今後のは搬出除出を対し、世の中源道貫出さる場のとせり(但し通

設類輸送高の一〇%を見積 ・ 一般のででである。 ・ 一般のででである。 ・ 一般のでである。 ・ 一般のでである。 ・ 一般のでは、 ・ 一般のできる。 ・ 一のできる。 ・ 一のででを。 ・ 一のででを。 ・ 一のででを、 ・ 一のででを、 ・ 一のででを、 ・ 一のででを、

起路とし東 道の交通数 とし東

川村柳

略としては、安東 建設は資源の開設

はなり(完) を確信すると共に、太鏡道のを確信すると共に、太鏡道を確信すると共に、太鏡道の整確信すると共に、太鏡道の意動り見したる間境開設の急務り見したる間境開設の急務の見したる間境開設の急務の重ねんことを切望して巳まるなり(完) 第二〇號告示 マル三十日ヨリ昭 マル三十日ヨリ昭 全休慮ス ピーキー・カ三日 と休慮ス 第一九號告示
昭和十一年一月一日午前九時四十五分2常館構内3事官官邸
三於テ拜賀式ヲ奉行ス
右告示ス
昭和十年十一月二十六日
昭和十年十一月二十六日

季 總領事

萬廣告相談所 も無料で順じます午後二如何線な関告の質用談に 破泉蒸氣浴所 破泉蒸氣浴所

はり・

一、編永・■(2)一七七八番

新京鍼灸治療院 新京鍼灸治療院 川海島

附

貨玉台致します

京一の底魚

Œ

直 E1

籔

輸

屋

所作製臺突玉

〇三ノ三町枝ヶ梅京新 (接)二九六六(3)暦電

番八五九一 天奉替版

●さいべりやね

/日川帆 回回

北日本汽船

版の多眠測窟十八を焼売した。本討伐に於てたした。本討伐に於て晒には敵は死體三を遺過廿五日午後六時より

香电

じんま酒 ●銭十個十● に速迅を立来出ひ暖 致け超御ず物に少多 すまし 和堂

特別廣告 度御引立有難存じます

御宿泊並に高等下宿

萬屋旅館

日本橋通入〇ノ三(新京梨園隣)

據器3三00七番

朝鮮銀行機

泰

正

電話二六四四番

●不用電話高個質● ●不用電話用達部▼ 本電話用達部▼

債券

公債

强勉别特

●電話で金融●電話 帖其儘低利多花貨 公配電話店

広告の指は既然から

博

を 2 一人六六

商官問題

達用饵

■3回七五五番へ 梅詰弁 電氣の御用は +橋原 吉野町一丁目電3四七七〇番 **从**上茶道具。 みどり茶園へ 仲寅 電 家介質 話 屋 土地 社成 萬 番四八八四⁸話電

分和绚宅住 紬店 建管蓬動不

融金產動不

部體金事商福丸

●O五五六 (8) 監理 四二五 a

二正(隋朝含翰 大品れ流

● 17 (大) 行 (

通輯植實際合

地方一帶の諸縣は、大豆初め ・小豆、高梁、包米、栗、米等 の産地にして、各縣の統計に よれば其の年産額は合計四百 餘萬石に達し此の中包米、高 祭等の或る部分が土民の常食 に供さるる以外は大豆、米、 に供さるる以外は大豆、米、 日端開係に於て今後益々粉室 を奨励すべきものにして、現 在其の年産額は寛 の一〇億 類な・並頭に、桓仁一億萬粒 の一〇億 て珍重せられ東邊道奥地は

五三六、一二三七杆

に於る實績を標準とせり無線、吉長吉敦線、四洮營業毀の想定は審海線、

定語 九二四八

新京日日 新聞社廣告部

より三時までの間

附則則 改む て共の定員を掲上する必要がに安東水上警察署を置くを以際局を改組し安東警察廳の下

北滿特別區廢

日より斷行

ふ公布

3

梅拉爾に

り之を施行す

法院の 區廢止後の 管

電話商會、取(3)六七00電話商會、取(3)六七00

科學的に證明

街中了夕"

| 特區域は北瀬特別區に於ける なり、康徳三年一月一日よりと雖仍從前の例に依ることに は北ັ輔特別區の廢止後別區に於ける法院の管 從 通り た交於時以松却は栗のと伐い職で落下井し匪敗職遭に

ことになった 地總館事餘響察署長に榮轉を【吉林支局發)綏芬河より當 警部着任

同に罹り静養中なりし 長田中警視は昨今稍至日午後一時十四分五日午後一時十四分の一方病以前にした。一方病以 邦文 ぐれピスト選成

運轉手募集

を時甘酒と を時甘酒と を時甘酒と を時甘酒と をりまる では をおする。 をおする。 をおする。 をおりる。 をもれりる。 をもれり。 をもれり。

看板は

トラツク

酒末

公債"株式

式

11

電話三—四〇六七番

新京東三條通リ四十二番地(新城病院横)

株式現物 實買

松尾盛男商店

明治19年 1月20日 新京キ

太田醫院

新京神社南横 電話 3839

サックへ風化明ット

日孫タイプ 综合教授日本タイプ 综合教授 タイピスト 生 徙 募集

接續地域に編え

房地捐は

り之を施行す 本法は康德三年

4

吉林卸賣市場開設案

明春まで持越し

當局と營業者の見解相距

質現の目安立たず

廢止される特區内の諸租稅

れた左の租税は廃止され

3

電二3六九五番

電話三一二八二八番 曜町二丁八曜(3)大九〇八番 明越 東他建築材料一般 東他建築材料一般 東地建築材料一般

電話

七二ノ三町笠三番三三五五3両電

多

自出安認

三大大

目種業營

電給・通信・信號表示燈・裝置工事一式 電給・通信・信號表示燈・裝置工事一式 電給・通信・信號表示燈・裝置工事一式 電給・通信・信號表示燈・裝置工事一式

三丁目一番地(田中どれ)階)電話三一二五七〇番 | 上本電氣株式會社製品販賣店 | 工務所合法 | 勝美電話工事店 | 工務所 | 與品販賣店

新京室町二丁目

鑛 業 法

2

番組

析八日(土曜) (新京放澄局)

清書

V.00

時事解證

作洋

販家

賣具

飯

富

洋

歌行燈(三)泉 鏡花原作 七一○ 連續ラデオ小説 七一○ 連續ラデオ小説

ふことはよぐ聞くことです。 しかし年中結つてゐれば自然 たいふやうなこともありません。しかしぶだん自由な洋髪 にばかりして急に重いいくつ ものかもじを入れ、すき毛を 入れてすつかり油でかためた 島田で結ぶとしたら、ぢつと してゐて首から上の筋肉を非常に疲勞させます。 ◆………◆

た、3比翼塚、 三 味線 三 味線

4家かくし

謝

思

奉

仕

割

ပ

000

東ラチャの

八、三〇時報ニュース(東京) 明練きニュース、東京) 明練きニュース、東京が 所市況、番組豫告(講語) 九、〇〇舊 劇 (奉天) 連環鉄 審水名票 審水名票 (哈蘭湾)

活潑な動作は一切出来ず、ちなのにも、首はちゃんと固定させておいて、からだ全體を動かすといふことになりますをしてタボがうしろの衿でくしやくしゃにならないやう。

二二〇 成人講座

サアモウコレデ

安心 9"7

ものです。 ちぬ恒例の

にはな と魚臭以外に强い悪臭を持つにはな と魚臭以外に强い悪臭を持つにす。 で押して見て、また腰の邊を指った いもので、堅くて指跡のつかないものが、地 もので、堅くて指跡のつかないもので、堅くて指跡のつかないものに押された下積みの不良品でありますが、この腹が散像形み出てゐるものをした は中の肉が薄くて不味です。 は中の肉が薄くて不味です。 れだけ味も新卷でなく、カムチャッカでもよい 新卷でなく、カムチャッカでもよい 新卷でなく、カムチャッカでもよい 新卷でなく、カムチャッカでもよい がありますが、これは肉の色 れだけ味も新卷に劣ること数 れだけ味も新卷に劣ること数

大きしたが昨今は即席と味を主とする爲に鹽敷の子が歌迎とされます。これは、鰊から取った敷の子をすぐ食鹽水に漬けて保存したもので、緑庭でもこれを保存するには鹽水に漬けておくことで、料理するときは米のとぎけに一書夜位をらみ注ぐことです。優良品は形が櫛型に整つてゐて折れたりしてゐないもので、原庭であれたりしてゐないもので、原見品は

ウム・一ツ窓ノ外ノ景色デモ

お

ならてはい

庭の主婦心得帖の一お正月に缺くことの

方こ買

時の注意・

ナイワヨ

火煤が月=這一大丈夫! 方衣行

坊ヤガ面白ガッテ ナナダッテ? モウー 適ヤツテ アサイダッツテ

日本

Ò

御

辯護士

別

役

高囑に應ず一般法律事務

(四)



大根 真白く きめの またものがよいのです のあるないは割つて見ない限り外るないは見分けられません

(材料) へ五人前ン 鶏肉五十名、小藤二把、 鶏肉五十名、小藤二把、 門、鹽、調味料少々づゝ、 質を食せ、お鍋にお湯か煮出 が三分位蒲鉾は緑杏切りとし、 で三分位蒲鉾は緑杏切りとし、 で一次で、お鍋にお湯か煮出 があるせ、お鍋にお湯か煮出 かったら他の材料を入れ味を つけて煮ながら食べます。

非活動的の

※理※ ※獻※ ※立※

音楽を

ンキでは六七六〇

あるのが良品で

透明な赤い

夜にあた」

たのでよい

ものでご

何を飾り に

使ふやうに をう何はに盛朝い葉扇でなる。 をう何はに盛朝い葉扇でなり、 を変してひる。 を変してひる。 を変している。 を変している。 を変している。 を変している。 を変している。 を変している。 を変している。 でいる。 を変している。 でいる。 を変している。 でいる。 にいる。 でいる。 にいる。 にい。 にいる。 にい い松か

さんごん 大 作つたものをお求めになるのが却つて經濟であり、手致も かよりませんから喜ばれますが、これは練るほど艶が出る もので金色の艶が柔かく出て あてざらつかないものをお求 あ下さい。質色すぎたり、青 高島 身體 田 30 0) 弱

なり多いやうといい。これがなった。

邪を引きないなほさん

るといふことから 々は髪のた

電話(2)二七八一番、

水道、故障、先

木石

御

用

11

祭智胡同一〇九

業公司

◆能達迅速◆

なさ と頭をのせた

肩かこる。 原かこる。 不足さられだそれだ ち幸ひで、 らが、少 んたちは

協隆洋行

高ヲ仰向 ケニ型タ

ゆて物ラシタ時得水フ

杓子ノハイルロハ片 置ノ凸部 ラルショセ トルニ至極便利。 中味が吹出サズ粥や重湯

デーハイルロ が蒸ノ凸部 が完全ニ別素サレル。

答り入レタマ、完全二番がどりこの鍋へ杓子や

大革命

イはいます。

者明設のこりど

のみのコバタ 00

後にスモ カがある のである





北の裏に タバコの ::如く:: 南がある 7.900

九四番 行 天津开澤紙氈工廠支店 廣告の御用命は一

電話三、三三〇〇番へ0

和型鏡臺

八廉賣會

徳川な質流れ 冬の洋服・オー 新京親町三八三(開北前) バー類 質店 す

悪体はないなるによったおき ランへあればし

慈光路五二〇番地 根 之 最話(2)一五八九番 商

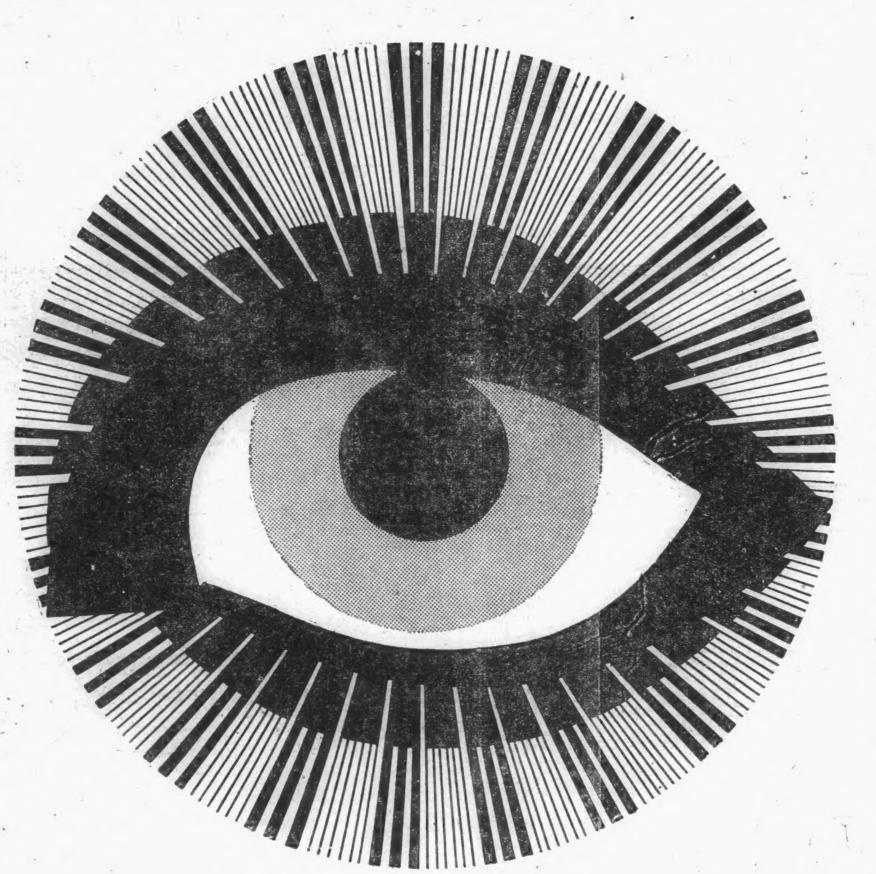
眼を愛護せよ

視力を増せ

健康な瞳こそ幸福の母

眼は解剖學 の一部だ

眼の障害は忽ち腦に反映する



! よへ與を養榮と息休に眼るの病に眼たれ疲

しかも戦かな近代生活は一面に於て怖るべき眼の酷使を强要します。過酷な讀書、堆積を歌が、不潔な室内の空氣、離踏する市街疲労、混濁せしめ、視力を裏へさせます。一般労、混濁せしめ、視力を裏へさせます。一れて生活的に敗逐の憂き目を見なければなりません。

解剖學上限は腦の一部と見做されて居ります。從つて眼の障害は直ちに腦に影響を及ぼし、腦力の低下、神經系統の異常を招來しまし、腦力の低下、神經系統の異常を招來しまとは、頭腦を明澄にし、生活能力を擴大強
ことは、頭腦を明澄にし、生活能力を擴大強
ことは、頭腦を明澄にし、生活能力を擴大強
にとは、頭腦を明澄にし、生活能力を擴大強

薬科眼級高・る護を眼・しか活を眼

町本區橋本日市京東

社會名合置玉 店型代總

四十五錢

(六)

堂々百枚s神品

學則送

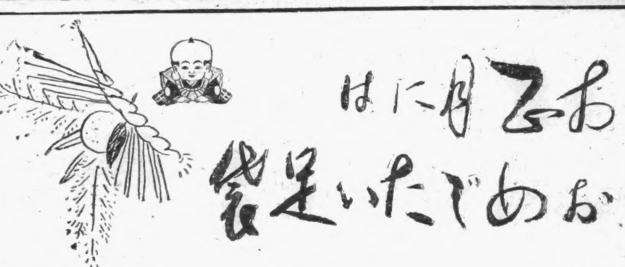
显

電影四四四四番

奉天满洲

自動車學校

展望 (世界



長町二

四

并上源太 GIII 语 [九]

(牝) 生後五ヶ月(小肥の方石三條通大猫 丹離

使きい事之れ以上なり

3

となで

百円省如用達・味の落木舖・株式會社・鈴

木

商店

母五三六六(3)雷 ○二級橋本日京新 (隣行洋林)

品類お土隆品、眼鏡和、指環、貴金屬製を大イツル製時計、タ

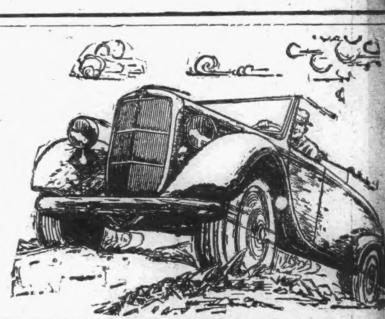
カムテヤツカ産 デバート メントリ

優良毛皮 段値の格破ぬき許を從追の店他對絕

社式 奉 學 A 每 月(十五日) 開 一 二ケ月卒業 一 二ケ月卒業 部部

始

を産



肛門病科等 人島小學校 逐動場兩側 新京永樂町二丁目十番地 九三七話

*正月。 *寫眞iteo

新 **光旦より正月中お宮しの寫眞を四倍に引伸して** 京 日本橋際 寫眞館 新京百貨店二階 聖師へ出ン四九四三番

●出張はお電話で申込下さい●



號九十三百六千四第

新市街憲兵分隊長から公主協憲兵隊長専任となつた星少佐は二十九日午前九時三十分發また安東憲兵分隊長に轉任の前新京憲兵隊本都副官西田少佐は三十日午前七時愛、いづたは三十日午前七時愛、いづ

赴任日取决定

悪徳記

者に

意

新京署岡田高等主任談

挿話的の事例もあり

放蕩店員

主家の貴金屬

東軍に於て爾大報告を了へた「原率天特務機關長は廿七日日 原率天特務機關長は廿七日日

中心に滿洲問題、北支問題に 小鳥精一、杉森孝次郎氏等を 中心に滿洲問題、北支問題に 小鳥精一、杉森孝次郎氏等を

に関し大のやうな総積談をな に関し大のやうな総積談をな した

日本 國民は世界無比 の脈脈力を持つ

取し、市内三笠町第七博多屋とクローム製腕時計一個を窃ったの中ム製腕時計一個を窃ったのが、

に、陸軍陸地測量部員と稱し ・ 、 ところを、二十六日午後 ・ 、 に、陸軍陸地測量部員と稱し

支那を再認識して

新政治運動

縦横の氣焰吐く

記者團ピ會見

得難い教育資料

は

本社の記事に一女性から

野上薫さんへ

京陽東軍首脳部並に満州國要 京陽東軍首脳部並に満州國要 京した、一行は直ちに大和ホテルに於て記者園と會見した 役大和ホテル、名古屋ホテル

使用人は歳の額を目睫に控へ たいになる事件が多々あるが、 いなになる事件が多々あるが、 いなになる事件が多々あるが、 いなになる事件が多々あるが、 いなになる事件が多々あるが、 いなになる事件が多々あるが、 いる

て狂人同様になるといふ仕末で、二十七日坂田氏を始めては扇水、宮越の雨名とこの問題に関係せる小西辯護士らの出頭を求め種々協定したが施工者の方ではあまりに報波ひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに氣おひなる工事主の仕打ちに気おり事件

大は病床に臥しR たが、他!

く報導されてゐるが未だ不 | 於る誘新聞も之等學生運動 | 好下本人顧問を置くかの如 | 的に取締つてゐるが彼地に | 好下ある、學生運動は徹底

た女性がある―市内富士町 ちった女性がある―市内富士町 石川 一 名州一)の夫近藤卒夫氏 (假 本 名) はもと某會社につとめて され、以來化子さんは家財道 され、以來化子さんは家財道 つされ、以來化子さんは家財道 つった女性がある―市内富士町 たんで はったが 病身のため 食社を 観音 しゃって るたが、 其間いろく 他 世 へてるたが、 其間いろく 他 世

つたので 分にも乳香 分にも乳香

三國經

杉森、小島氏等一行十

人と會見の交換をなす管で、一行の氏名は左の通りである代議士中野正剛、早大教授 杉森孝文郎、小島精一、代議士由分融治、前代議士 向野龍一、九州日報主筆清水 所名務參與官松浦 水 外務省場託中山優、浦本 外務省場託中山優、浦本 外務省場託中山優、浦本 一馬

た

の迷惑を併せて一掃する結果思惑を駆逐する許りでなく玉思惑を駆逐する許りでなく玉相に言論をバックとして贈る

る。を招来するものと信じてある。 のは為念之等の防問を受けた 場合に左の戯に付いては特に 御注意願ひ度い (二) 関告や精讀をせんとする 新聞難誌は豫め目標を定め て後に大の信用状態を一應調査し で決定せられるを可とする に本の信用状態を一應調査し では其の社との場保を質す こと、初對面の場合は単に 名刺だけを信用せざること (五)金銭の多裏に係らず要求 的非紳士的言動ある場合は のこと (五)金銭の多裏に係らず要求 のこと (五)金銭の多裏に係らず要求 のまると に等わると に等かまると に等かまると の場合は単に と) のように を付出しては を信用せざること と) のように のようと ではまの社の場所を のようと のものに對しては を記述を のものに對しては を記述を のものに對しては を記述を のものに對しては を記述を のものに対しては を定め のものに対しては を記述を のものは のものに対しては を記述を のものは のものは のものに対しては を記述を のものは のものは のものは のものは のものに対しては を記述を のものは のものに のものに のものは のものと できると に、 のものと のもの 中大教授として知られてゐる日本論壇の異才形森夢文郎氏は「對支 道德論」を左の知く語つた 世界の現状に國民主義對立 が現れて本ることを表別では最近 が現れて本の知いであるが、歐別では最近 が現れて東語東にて東語東にてあるが、歐別では最近 を表別要がある。日支部がは國民主義對立 を変がにおける外國として東部東では最近 であるが、日本も支那がは國民主義對立 を変がにおける外國として支那を目 を変がは自本の遺伝とは最近では最近である。日支統合として東語東における外國と上で支那が自己を表別では最近 を変がは日本の遺伝とは最近では最近 を変がある。日本も支那を目 を変がある。日本の遺伝を表別では最近 を変がある。日本の遺伝を表別では最近 を変がある。日本の遺伝を表別では最近 を変がある。日本の遺伝とは、一對支 を変がある。日本の遺伝といる。 を変がある。日本の遺伝とは、一對支 を変が、一方では、一方でなずる。 を表別では、一方でなずる。 でなずることは出

道德 0

菊白黑進松 正 內 竹 宗鹿軍軍梅

發賣元

御進物用

84 六箱一

1

箱

入

▲寄附 今囲吉社 島の八島校在學和 上七日同校父兄会 島校在學記念として二 書記生原田英夫氏は子

ヤ街

見があるので思ふやらに使つ てくれる所はなく。子供を他 に預けるとすれば一ヶ月十五 ので、それでは少

病

夫を養

は

常時日本の関家契済組織を を味方とすることになる形に 自由本に日本と提携するだら 自由本に日本と提携するだら 自由本に日本と提携するだら 自由本である、満洲はこの時實力 である、満洲はこの時質力 である、大體の方針 かせるべきである。したなるの がある、大體の方針 かせるがきである。自分は がある、は他央は出先にまるの がある。 がはるがきである。 がはるがきである。 がはるがきである。 がはるがきである。 がはるがきである。 がはるが、大體の方針 ない政治運 である。 がはるが、大體の方針 ない政治運 である。 がはるが、大體の がなるが、対路の がなるが、対路が がい政治運

> 手御様の以致今以禮の間來す回 紙中御大約こ司

ボ上厚く御禮申上族 甲上可き筈の處多忙を極 時上可き筈の處多忙を極 時上可き筈の處多忙を極 時上可き等の處多忙を極 時上可き等の處多忙を極 時上可き等の處多忙を極 時上可き等の處多忙を極 時上可き等の處多忙を極

極っは在二林の年年に中八時

勝趣皆其月職

人から面倒を見て

たはピター 夫はピター 大はピター で、花 れ今日では

木内保安主任に

識され飜

記者が「日本の政界は」と問へば へば の内閣はクラブの様なものた 政府は北支は国つた、ロシ アと職爭すると危い、イギ アと職爭するとだといつて一 前に意見が無い、僕が歸國 あるだらう 高に意見が無い、僕が歸國 かる気には觀會は解散して

動向を語る

島精一氏に日滿支經濟ブロック結成の動向を問ぶ、同氏は 『日滿支の經濟段階は夫々異 り三角的關係に規律されてゐ

灰 菜 莨セット

三七〇八五八〇〇〇 t:0

より

日より、

同

十五日

まで

全

割

马

西

眞

馬

路

0) 0 九三九番

三末籍語五、 升瓶詰一一、 六0 四〇 薦 7

贈答用山 品位ある雅趣豐かな新型の格好のよさと 新 春 用 K

八四通央中 器 五三六三3 th 110-011-

兄 是METER STATE OF THE STATE OF T 商 御 用 命

0

服水 主

良店 尙

後そ何平信傷ノ御愛顧ヲ賜回屋洋服店ト銘ヲ打チ獨立

廣

福野三二五四五八 家庭用 立六立 酒の 箱 00

昭和十年十一月六日 審査の成績に依り 壹等賞授與せらる 全朝鮮酒類品評會 於 大 邱

滿

此の品種、 関格此のサー

n

D ů

玉月 菊冠 龍 話 二八四番 龍 話 三〇七番

遗

銘